

ケアラー支援機関向け実態調査結果

令和5年10月



長崎県

調査概要

【調査目的】 家族の介護や、日常生活上のお世話を無償でしている人（ケアラー）の悩みや困りごと、支援ニーズ等を把握し、支援を必要としているケアラーの早期発見や適切な支援につなげるための方策を検討するとともに、ケアラー支援に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

調査対象機関	対象数（か所）	回答数（か所）	回収率
地域包括支援センター	52	28	53.8%
居宅介護支援事業所	457	241	52.7%
障害者相談支援事業所	150	38	25.3%
生活困窮者自立相談支援機関	22	20	90.9%
合計	681	327	48.0%

回答した事業所等が主に対応している地域

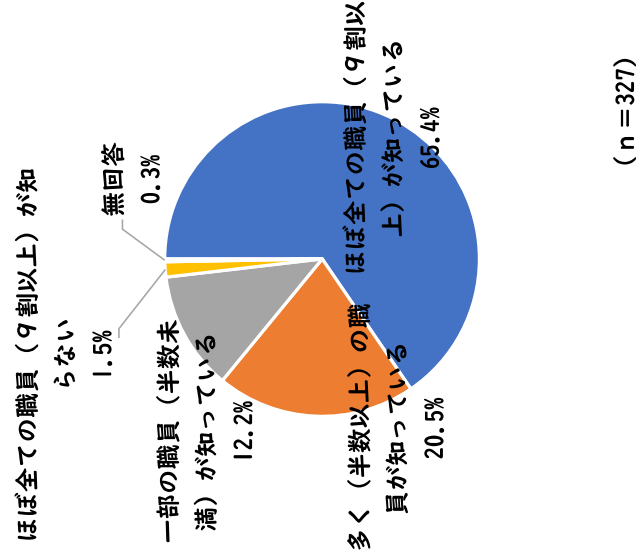


※複数の市町を対応している事業所等もあるため回答数とは一致しない

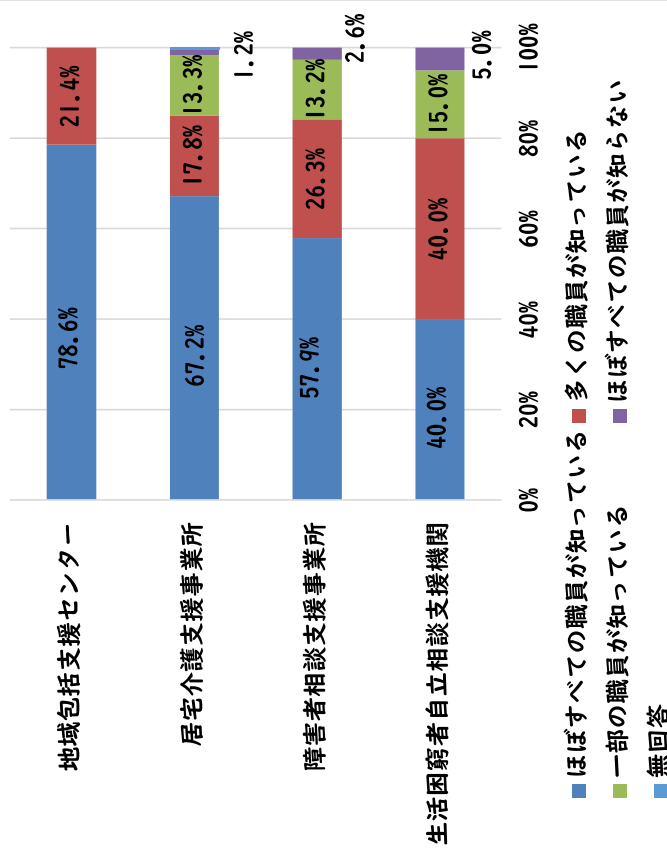
2 ケアラーに関する認知度

ケアラーに関する認知度を見ると、「ほぼすべての職員（9割以上）が知っている」が65.4%だった。

ケアラーに関する認知度（全体）

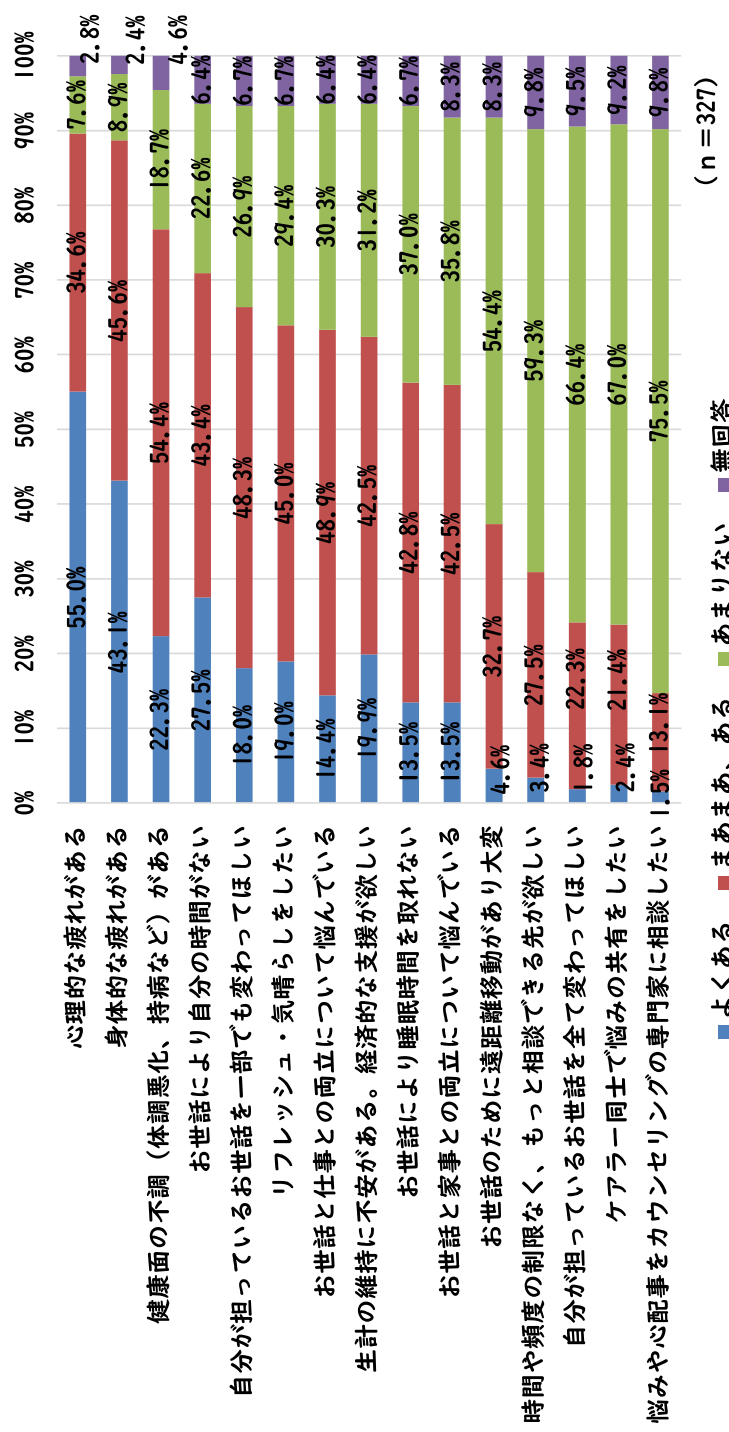


ケアラーに関する認知度（事業所等種別）



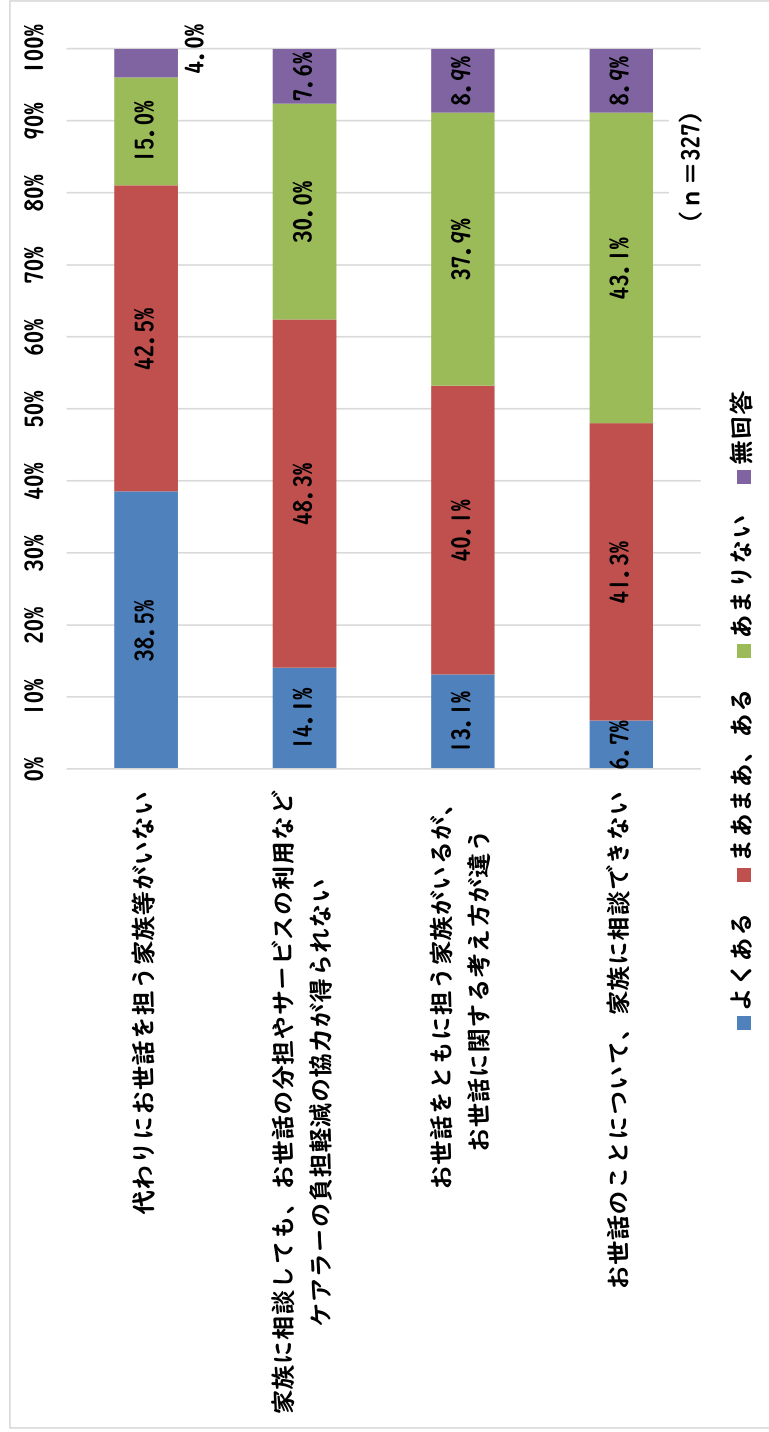
3-1 ケアラーからの相談受付状況（ケアラー自身のこと）

ケアラー自身に関する相談の内容について、「よくある」「まあまあ、ある」「まあまあ、ある」として、「心理的な疲れがある」が89.6%、「身体的な疲れがある」が88.7%であった。



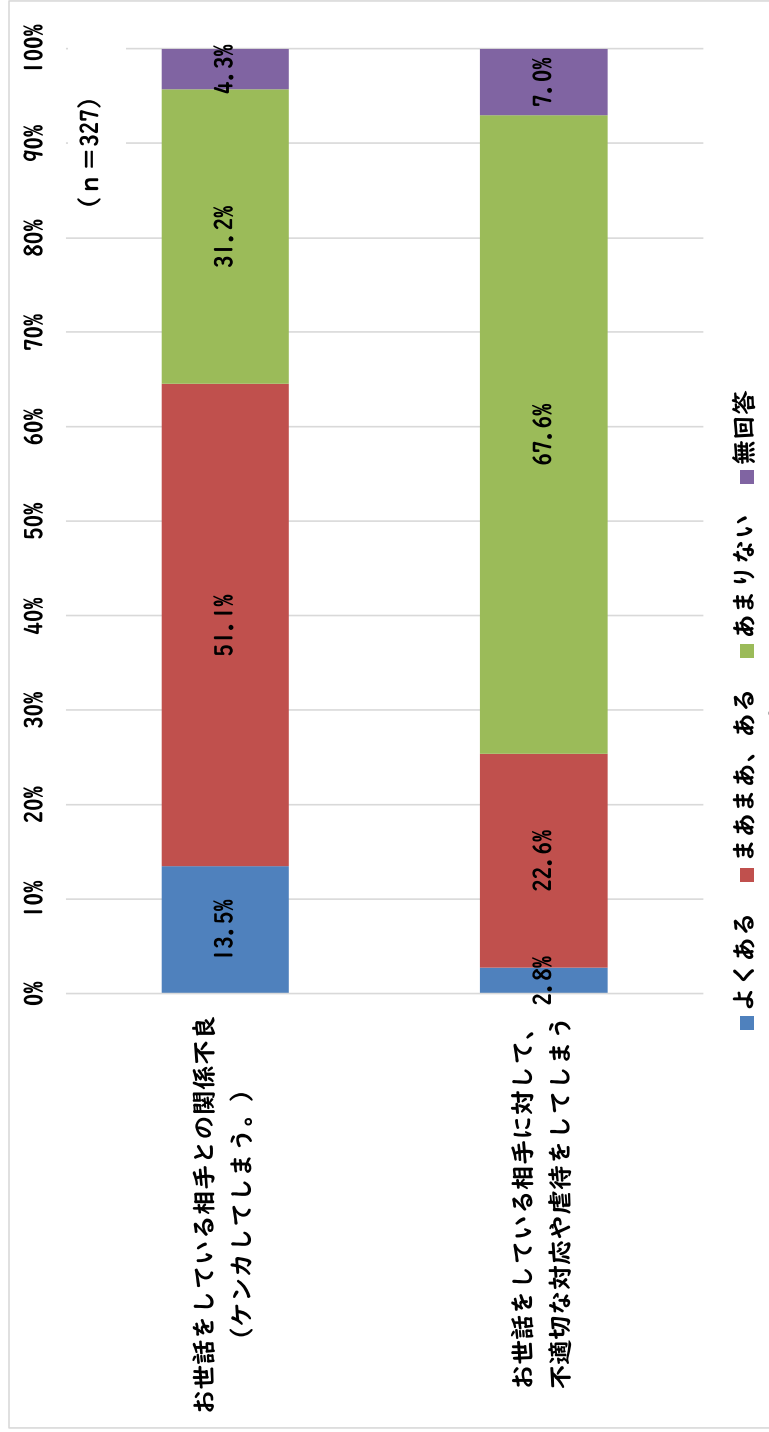
3-2 ケアラーからの相談受付状況（ケアラー以外の家族等のこと）

ケアラー以外の家族等のことに関する相談の内容について、“よくある” “まあまあ、ある” “まあまあ、ある” ものとして、「代わりにお世話を担う家族等がない」が81%、「家族に相談しても、お世話の分担やサービスの利用などケアラーの負担軽減の協力が得られない」が62.4%であった。



3-3 ケアラーからの相談受付状況（お世話をしている相手のこと）

お世話をしている相手に関する相談の内容について、“よくある” “まあまあ、ある” “まあまあ、ある” ものとして、「お世話を受けている方との関係不良」が64.6%であった。



3-4 ケアラーからの相談受付状況（その他の悩み）

【相談体制、支援体制】

- ・相談窓口がわからず一人だけで考え込む
- ・相談できずに一人で考え込む
- ・ケアラーが急病時に救急対応できる人がいない
- ・障害ある子供と夫の親のダブル介護
- ・ショートステイの受け入れ先が少ない

【本人】

- ・ケアラー本人の体調不良、睡眠不足
- ・強く注意してしまい、自己嫌悪になる
- ・将来への不安（自分の人生がどうなるのか）
- ・家庭を離れて、住み込み介護をしている
- ・子供の障害に対して罪悪感があり、ケアの負担を口に出せない方がいる
- ・ケアラー亡き後の不安
- ・いつまで介護が続くのか不安

【家族等との関係】

- ・ケアラーとケアラー以外の方で将来的な考え方が違う
- ・どのように兄弟時に理解してもらえばよいか悩む
- ・近所の方に迷惑をかけ関係が悪くなった

【経済面】

- ・経済的な不安
 - ・短期入所の費用を家族でどう負担するか、施設入所を望んでも費用面で折衝がつかない
 - ・施設入所の金銭的負担が大きい
- ※主なもののみ編集して記載

4 ケアラーご本人への直接的な支援

事業所等で行うケアラーご本人への直接的な支援について、「特に行っていない」が48.3%、相談窓口の設置が15.3%であった。



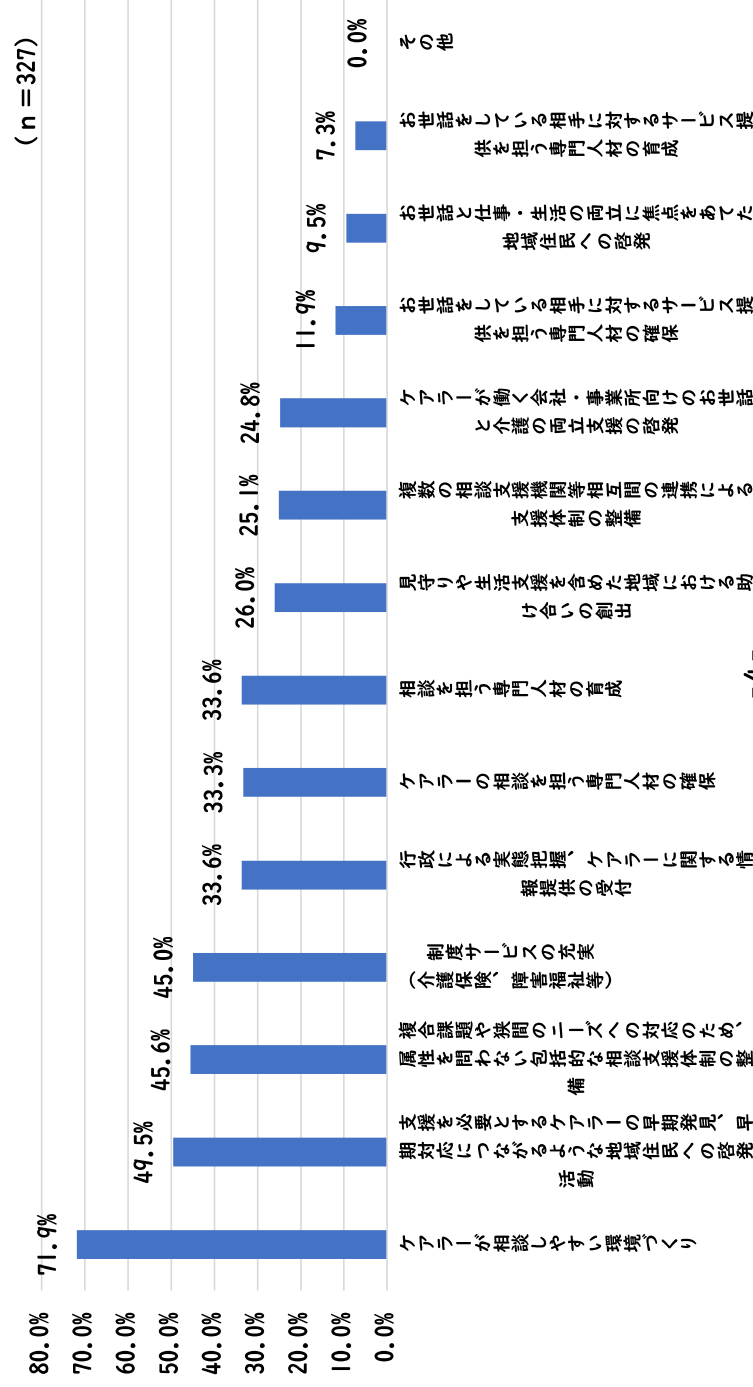
5 ケアラー（及びそのご家族）以外への働きかけ

事業所等で行うケアラー（及びそのご家族）以外への働きかけについて、「特に行っていない」が64.2%、「ケアラー支援に関する研修・勉強会の開催・参加」が11.3%であった。



6 県や市町が取り組むべき事項

ケアラーに対して必要な支援を実現するために、県や市町が取り組むべき事項について、「ケアラーが相談しやすい環境づくり」が71.9%、「支援を必要とするケアラーの早期発見、早期対応につながるような地域住民への啓発活動」が49.5%であった。

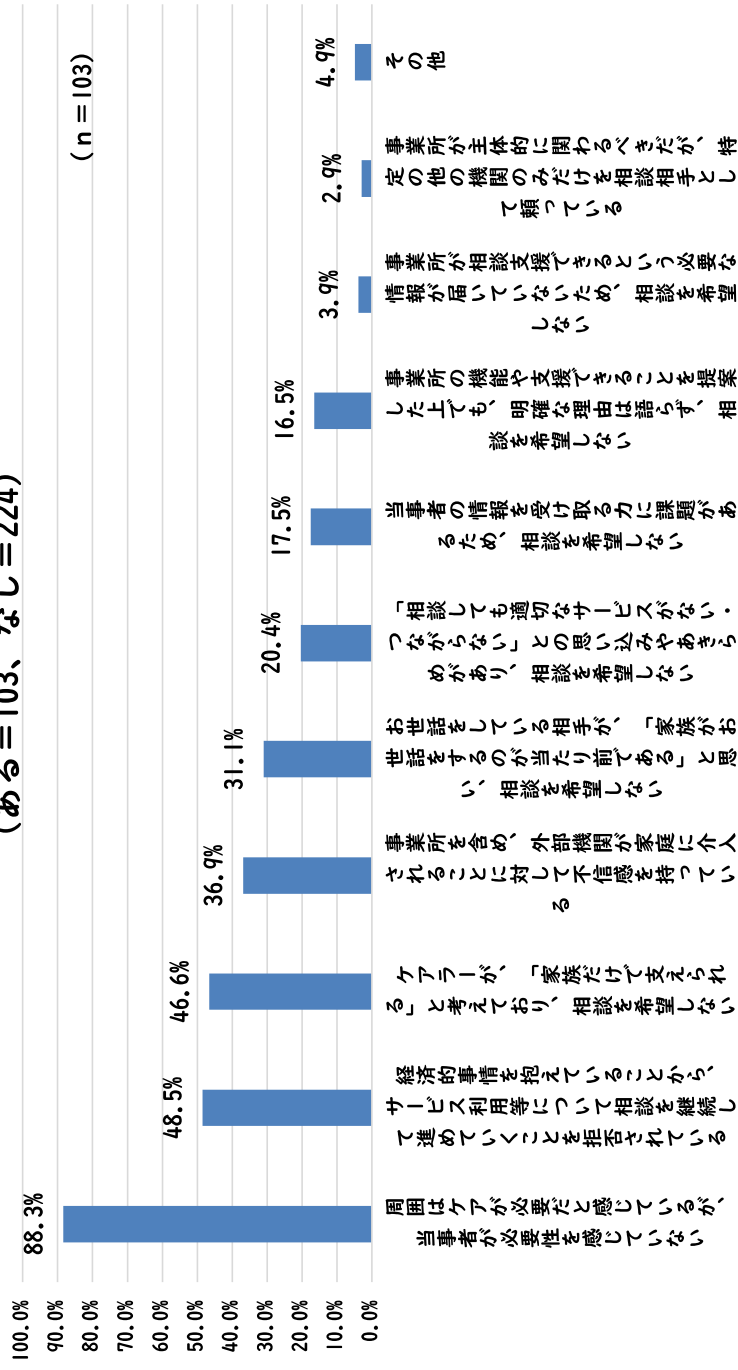


7 相談につながらず心配な事例とその理由

ケアを必要としている方で、相談につながらない理由について、「周囲はケアを必要と感じているが、当事者が必要性を感じていない」が88.3%、「経済的事情を抱えていることから、サービス利用等について相談を継続して進めていくことを拒否されている」が48.5%であった。

相談につながらず心配な事例があると回答した場合のみ回答

(ある=103、なし=224)

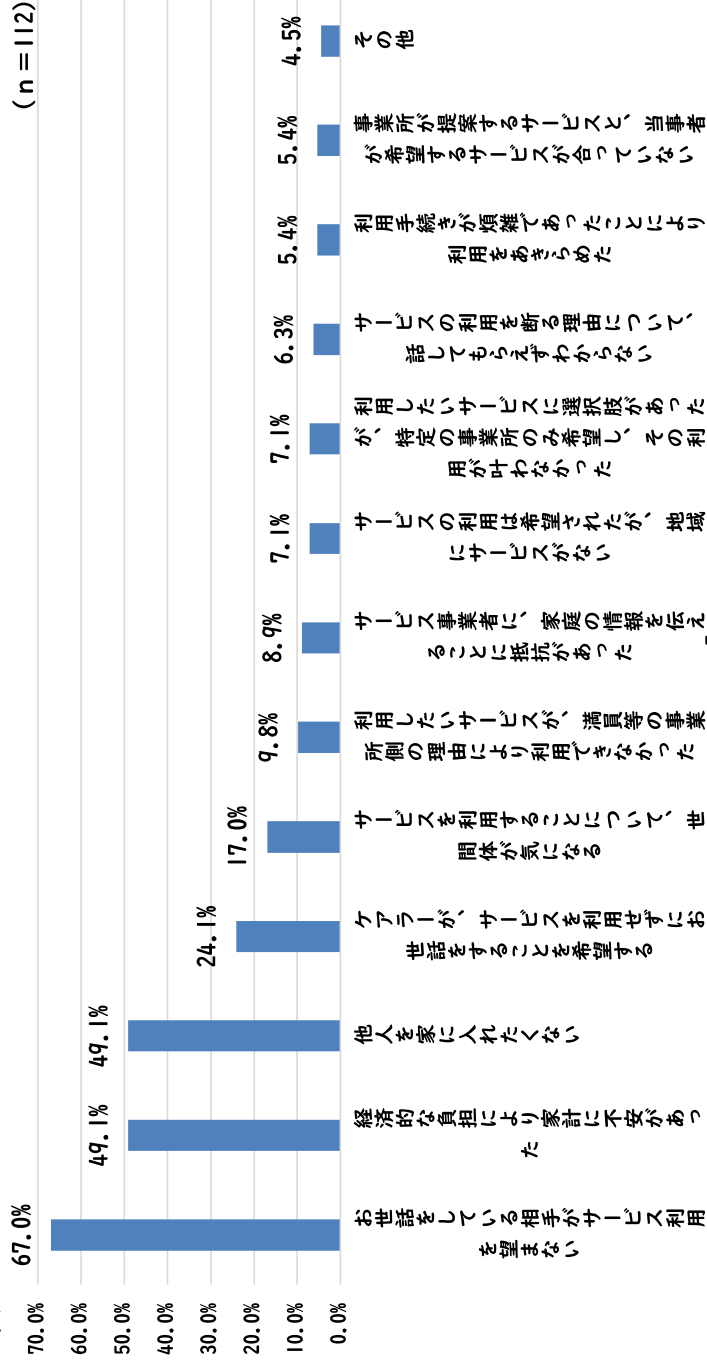


8 公的サービスの利用に繋がらなかった事例とその理由

相談を受けた方で、ケアを必要としている人が、公的サービスにつながらなかった理由について、「お世話をしている相手がサービス利用を望まないため」が67%、「経済的な負担により家計に不安があったため」、「他人を家に入れたくない」が49.1%であった。

公的サービスの利用につながらなかった事例があると回答した場合のみ回答

(ある=112、なし=215)



9 相談や公的サービスに繋がりにくい家庭を支援に結びつけた事例とその方法

相談や公的サービスに繋がりにくい家庭を支援に結び付けるための実践について、「対象のご家庭に対する電話や訪問の頻度を手厚くした」が67.8%、「ほかの分野の支援機関との連携のもと、対象世帯に連絡・訪問等の対応をした」が60%だった。

相談や公的サービスに繋がりにくい家庭を支援に結び付けた事例がある場合のみ回答（ある＝115、なし＝212）
(n=115)



10 事業所を対象とした研修やセミナーの希望

- 【研修・セミナーの方針】
 - ・高齢者のみにとどまらず、子どもや障害を抱えた方達も支援するセミナー（全体が横断的に連携を進めていけることを認識してほしい）
- 【事例検討】
 - ・介入の難しいケアラーを支援した事例
 - ・複合課題（高齢・障害・子ども）や狭間のニーズがあるケースの支援事例
- 【制度】
 - ・制度に関する研修会（相談窓口や支援に役立てられる機関の紹介や、公的サービスへの理解を深めるもの）
- 【相談対応】
 - ・ケアラーの相談を担う専門人材の育成
 - ・ケアラー支援の視点やケアラー支援の繋ぎ先や社会資源について
 - ・ケアラーのための心理的ケアとストレス管理の方法を学ぶ研修
- 【仕事と介護の両立】
 - ・ワーキングケアラーの研修会を開催してほしい
 - ・ケアと仕事の両立の観点を制度を知りたい（介護休暇や手当等）
 - ・勤務先への理解を深めてもらうための取組等を知りたい
- 【ヤングケアラー関連】
 - ・児童委員や教職員などと合同の事例検討会の開催
- 【その他】
 - ・ケアラー当事者と一緒に考えられるセミナーの開催

※自由記述（主なもののみ、編集して記載）

1-1 ケアラールー支援を充実させるために、特に必要なこと①

【広報啓発】

- ・「ケアラールー」や「ケアラールー支援」の普及啓発活動
- 【相談窓口】
 - ・ケアラールー支援の窓口を行政に置いた、専門職員による安定した相談先
 - ・ケアラールーが問われない環境づくり（相談窓口の設置・明確化・統一）
 - ・属性を問わない包括的な相談支援体制の確保
 - ・他機関連携が周知
 - ・相談窓口の周知
 - ・地域特性を生かした、地域で支えていく仕組みの強化
 - ・高齢・障害・児童等が相談できるケアラールー支援に特化した相談窓口の設置
 - ・ケアラールーが積極的に介入の通報
 - ・行政で困っているケアラールーの地域連携
 - ・地域との情報共有、地域連携
 - ・土日祝日や夜間常も対応した相談窓口の設置

【人材育成】

- ・介護人材の育成（コミュニケーション技術、心理的サポート等）・確保・処遇改善
- ・支援が必要なケア法の学習機会
- ・事例や支援方法を学ぶ機会

【仕事と介護の両立】

- ・職場でのケアの両立への理解
- ・仕事と介護の両立に関する啓発
- ・介護休業を取りやすくなるための働きやすき向上
- ・労働条件の改善（ケアラールーの働きやすき向上）

※自由記述（主なもののみ、編集して記載）

1-2 ケアラールー支援を充実させるために、特に必要なこと②

【制度・サービス】

- ・経済的な援助 ・短期入所施設の充実
- ・ケアラールーが体調を崩した時やリフレッシュ時の支援
- ・レスパイトの周知・充実
- ・医療的ケアにあたらさない、てんかんや移動式酸素、多動児などの重症心身の挟間の子どもたちを託せる短期入所サービスの事業所、医療機関との協力施設

【実態調査】

- ・年齢やニーズを分類して、何がどういう形でかわかるかが支援につながるのか、その支援はどうしたら提供できるのかを把握して現実的な施策に繋げるべき

【ヤングケアラー】

- ・若年層への支援（学校活動がしやすくなる支援、学校での講演、相談窓口の整備）
- ・ヤングケアラーのための負担軽減策

【その他】

- ・ケアラールの交流イベントなどを通じたケアラールー同士のコミュニティ形成
- ・事業所の経済的・時間的問題の解決
- ・ケアマネジメント業務は支援をしたい気持ちがあっても支援の量と報酬が見合っていない

※自由記述（主なもののみ、編集して記載）